

畜だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

2020. 4. 1



目 次

新入生諸君へ

課程・別科紹介

在来生所感

入試・教務課から 学生支援課から

学 長	奥 田 潔	1
共同獣医学課程	教授 小 川 晴 子	2
畜産科学課程	教授 加 藤 清 明	3
別 科	教授 松 井 基 純	4
共同獣医学課程	3年 谷田部 匠	5
畜産科学課程	3年 玉 川 雄 太	5
畜産科学課程	2年 野 村 陽 向	6
別 科	2年 楓 彩 香	6
学長告示が動画配信にて公開		7
飲酒について		8
S N S 利用にあたって		8
悪徳商法にご注意！		8
交通事故防止		9



「人生の歩む道を見つける時間」

学長
奥田 潔

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからスタートする大自然の中での大学生活に期待で胸を膨らませていることと思います。

本学は、日本の食料基地として知られる広大な十勝平野に位置し、日高山脈から大雪山系へと連なる山々の裾野から太平洋へと広がる大地と遮るものない大空を背景に、四季を通じて美しい自然を満喫することができます。このような恵まれた自然環境は皆さんの多様で個性的な夢と希望を迎え入れ、農学・畜産学・獣医学を修めるのに最適の環境であるとともに、研究においても十勝に存立する5つの国立・道立研究機関と共同研究を実施するなど大変恵まれた環境となっています。「高度な知識と技術を身に付ける」という初心を忘れることなく、この土地の利を活かし有意義な学生生活を送っていただきたいと思います。

本学は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成》を看板（ミッション）として掲げ、実学（実際に役立つ学問、応用を重んじる科学）を基調とした教育・研究を展開しています。農学とは、食料の確保だけでなく、「食の安全・安心」を担保し、生命や生活を保障するための多くの課題を見いだし、解決していくための学問です。TPPをはじめ国際的なボーダーレス化が進む中、食料自給率の低下、農業者の高齢化、農地面積の減少、農村の活力低下など、日本の食料生産をめぐる情勢は大きく変化しています。こうした情勢の変化に対応するため、本学は国際レベルの教育・研究を標榜し、日本における大学施設としては初の国際食品安全衛生基準（FSSC22000）や国際安全試験所基準（ISO17025）を取得して、それらを実践しています。卒業生の多くは、本学のミッションに沿うように、獣医・農畜産業社会における専門家として、日本ばかりでなく海外でも多彩

な活躍をしています。

皆さんは本学に入学した目的は明確ですか？漠然としている人が多いのではないでしょうか。本学では皆さんが専門課程に進む際（2年生）に所属する各ユニットには、どのような人材を育成するかの理念（ディプロマポリシー）に沿った必修科目や選択科目など、卒業時点までに習得すべき講義・実習科目などを示した「履修の手引き」が用意されています。また、科目ごとに勉学をスムーズに進めるための案内書（学習計画書）として「シラバス」が用意され、そこには学習達成度（成績）を評価する指標も示されています。しかし、大学は人生の道筋（プラン）までは立てられません。まだ具体的な目標の決まっていない人も、いつか自らの人生の進む方向を決断し、それに向かって歩み始めなければなりません。

畜産科学課程の入学生には4年間、共同獣医学課程には6年間、また別科には2年間の時間があるので「人生の目標」が決まっていないと言って焦る必要はありません。皆さんには、初心を忘れず高い志を持ち続け、講義や実習に積極的に取り組むことはもちろん、クラブ活動やボランティア活動など課外活動にも積極的に参加して「人間力」を身に付けて欲しいと思います。講演会や音楽会など文化的なイベントにも積極的に足を運び、多様な人々の考え方や文化に触れる事も大切です。そうしたプラスアルファの活動こそが、多種多様な人々や文化を受け入れられる幅広い人間性を産むに違いありません。

本学は、皆さんのが「人生の歩む道」を自ら見いだし、自信を持って歩めるようになるお手伝いをします。勉学はもちろんのこと、多くの事に積極的に取り組み、本学で過ごす時間が、皆さんの「人生の歩む道を見つける時間」になることを祈念しています。

課程紹介



教授
小川 晴子

共同獣医学
課程

帯広畜産大学共同獣医学課程の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんのご入学を中心から歓迎いたします。今年は年明けから、新型コロナウイルスの感染拡大が続きました。みなさんの受験生活の大変な時期にあたり、様々な影響があつたこととお察しします。そんな中、努力実って難関を突破されたみなさんは大きな喜びに包まれているものと思います。大学生活への期待に胸を膨らませている今の気持ちを大切に、獣医学を修めて獣医師を志す学生として充実した大学生活を送っていただきたいと思います。

帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程は獣医学教育の欧州基準認証の取得をめざしてきましたが、昨年12月に欧州獣医学教育機関協会による認証を取得することができました。今後も、国際的・社会的にリーダーとして活躍する獣医師の養成を目指し、我が国の獣医学教育水準の向上に取り組んでいきます。

みなさんは本学の教員だけでなく、北海道大学の教員による獣医学関連の専門科目の授業を受講することになります。本学は“日本の食糧供給基地”である北海道十勝という恵まれた自然環境に囲まれていて、産業動物施設、食肉検査施設、毒性、微生物および病理に関する検査・診断施設を含む多くの最先端設備を備えています。特に産業動物獣医療や衛生学分野に関しては国内でも特色のある教育を提供しています。一方、北海道大学からは人獣共通感染症や伴侶動物獣医療分野などに関する獣医学教育が提供されます。専門教育においては教員間の相互乗り入れだけでなく、両大学の学生が一同に会して開講される演習や実習もありますので、情報交換や親睦を深める機会にしていただきたいと思います。

共同獣医学課程における1年生の授業は教養科目が中心となります。獣医学を学ぶにあたって必要な基礎知識や教養を習得し、広い視野で獣医学を学ぶ必要性について獣医学導入科目で学習します。本学の特色ある授業のひとつである農畜産演習では“様々な生き物のいのちをいただきながら私たちは生きている”ことを知る機会を得ることでしょう。2年生から始まる本格的な獣医学専門教育では、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の各分野の講義や実習により体系的に学ぶことになります。獣医学にとって非常に重要な畜産関連分野についても学びます。各分野の専門科目数は多く、各科目の単位取得においては多くの知識量を求められます。2年生、4年生、5年生への進級時には、教養科目および獣医学専門科目の必要単位数を修得しなければ進級できないシステムになっています。また、5年生から始まる参加型臨床実習、いわゆる“ポリクリ”の受講条件として、共用試験に合格する必要があります。さらに、専門科目の仕上げとして、研究室に配属し指導教員とともに特定の課題研究に取り組み、その成果をまとめあげることになります。これら全てをクリアした学生さんのみが獣医師国家試験の受験資格を得ることになりますので、十分心して学業に励んでください。

共同獣医学課程は今年で9年目を迎えます。昨年度から新カリキュラムによる教育をスタートさせ、この春、9期生である皆さんをお迎えしました。みなさんが卒業する時に“帯広畜産大学で学生生活を送って本当に良かった”と思っていただけるよう、教員も全力で努力していきます。一緒にがんばっていきましょう。

課程紹介



教授
加 藤 清 明



新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも、心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

本学の所在する帯広市は、広大な大地の広がる十勝平野のほぼ中央に位置し、西に日高山脈、北に大雪山系、南には太平洋が広がっています。近隣には雪解け水を湛えた美しい川や湖など、豊かな自然に恵まれています。十勝はこれらの豊かな自然環境を最大限に活用して、国内有数の畑作と酪農の盛ん一大農業地帶です。食料自給率は1,000%を優に超えています。十勝の耕地面積は26万ヘクタールで、これは実に神奈川県の全面積に匹敵する広さを誇っています。また、農家一戸あたりの耕地面積は38ヘクタールと東京ドーム約8倍に当たり、大規模機械化農業が特徴となっています。平野部では、小麦、馬鈴薯、大豆、小豆、甜菜などの生産が盛んで北海道唯一の畑作地帯となっています。また、平野部を取り囲むように位置する丘陵地帯と太平洋の南部は、乳用牛と肉用牛を中心とした酪農畜産地帯となっています。農畜産学を学ぶ上でこの上ない環境と言えます。

早速、皆さんには、夏休みまでの間で、「農場から食卓まで」の農畜産の実践編を「全学農畜産実習」、そしてこの実習の基盤となる学問分野の入門編を「農畜産学概論」を通して学びます。1年生の終わる頃には、生き物を大切に育て、それを人間の食糧とするまでの農業・畜産と食糧生産について考える力と学ぶ力の基本が身につきます。また、2年生から所属するユニットを決めることがあります。ユニットには、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学の6ユニットがあります。今は、入学したばかりでユニットの内

容を十分に把握することが難しく戸惑っていることと思います。ぜひ、各ユニットの教員による農畜産科学概論、あるいはキャリア教育などで紹介されるユニットの内容などを参考にしてください。もちろん、ご自分で教員や先輩たちに直接話を聞くこともできます。あるいは、皆さんのクラス担任に相談してください。2年生になると、各ユニットの発展科目の授業が始まります。さらに、3年生になると、ユニットでの実験実習や専門的な展開教育科目が始まり、夏休みまでに卒業研究の担当教員を決めることがあります。卒業研究では、担当教員から個別指導を受け自分の設定したテーマを研究する科目で、4年間の集大成といつても過言ではありません。卒業後に、学びを深めたい場合には、大学院畜产学研究科で2年間（博士前期課程）、続いてさらに3年間（博士後期課程）に進学することもできます。博士前期課程では6ユニットに対応した6コースに加えて、動物医学コースが配置されています。

これら学生生活の過ごし方は、皆さんの自身の判断で決定していくことになります。ご自身が納得できる大学生活と振り返られるよう充実した日々を送っていただきたいと願っています。一方で、一人で解決できないような問題が生じたときには、担任の先生や学生相談室に気軽にご相談してください。本学は、皆さんの学生生活を支える万全の体制を整えています。

皆さん、これから始まる大学生活で、「自分らしさ」を新たに発見できれば、人生の貴重な財産となることでしょう。本学に入学した大きな意義となります。この恵まれたキャンパスでどうぞ学生を謳歌してください！

別科紹介



教授
松井 基純



別科新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。別科主任を務めます松井基純です。よろしくお願ひいたします。今、皆さんは大学での新しい勉学、活動に向けて、少しの不安を抱きながら緊張気味かもしませんが、ぜひ、帯広畜産大学での活動に期待を抱き学生生活をスタートしてもらいたいと思います。

まず、別科の生い立ちから紹介します。昭和16年（1941）に帯広畜産大学の母体となった帯広高等獸医学校が創立され、本学別科はその19年後の昭和35年（1960年）4月1日に別科（草地畜産専修）として産声をあげました。つまり、皆さんが入学する令和2年（2020年）は創設から61年目となります。これまでの60年間に1200人以上の皆さんの先輩が卒立っています。人では、60歳には還暦を迎えますが、昔は健康で長生きであることのお祝いであり、現代では新たな一步を踏み出す、人生の一つの区切りとなっています。本学別科においても、本年度より、別科（草地畜産専修）は、別科・酪農専修として生まれ変わります。皆さんは、新しい別科での第一期生として、新しい教育プログラムから様々なことを学び習得ていきます。

新しい別科・酪農専修について紹介します。現在、我が国の酪農産業は、高効率大規模経営の広まり、搾乳ロボットなどの技術の多様化、放牧酪農や有機酪農などの特色ある飼養形態、加工・販売まで手掛ける6次産業化や観光農場及び酪農教育ファームなど、経営形態や飼養形態の多様化が進んでいます。このような状況で、酪農界では、ウシを健康に飼い適切に乳生産を行うという酪農の基本技術だけではなく、多様な経営形態にも対応できる人材が必要とされています。そこで、新しい別科・酪農専修では、

【酪農に関わる基本的知識と技能を備え、食と農の大切さを基礎として「農場から食卓まで」の幅広い視点で酪農に適応できる知識と実践力を有し、国際的視野で地域の酪農を担い、日本の酪農産業をリードできる人材を育成する。】を教育目標としています。この目標に基づいて、本学学部教員から構成される教員スタッフが、基礎学術科目と専門教育科目を担当しています。基礎科目として、生物、物理、化学などの自然科学や人文科学、英語などを学びます。専門科目では、畜産学、草地学、農業機械学、農業経営学等に関する講義や実習が準備されています。履修する際には、基礎科目と専門科目ともに必修科目と選択科目を含んでいますので、それぞれの修了要件単位数に十分注意してください。配布された履修要覧を良く理解するとともに、分からぬところは別科担任の和田先生やクラス担任の窪田先生に積極的に質問してください。

新しい別科・酪農専修での特色ある科目「酪農実習」を紹介します。「酪農実習」の特徴は、多様な酪農技術を連携させた教育プログラムを通して、牛群管理～酪農経営のスキルを身につけるための実習です。1年を通して季節ごとに異なる酪農技術（牛群管理、圃場管理）と酪農経営（営農計画、生産管理、予算／決算）の実務について、少人数グループでのローテンションにより、体験的に習得していきます。この実習を通じて、卒業時には、酪農現場にて活躍できる能力を身につけてもらいたいと考えています。

最後となりますが、皆さんの大学生活を充実させるために、何よりも大切なのは、健康であること、そして、何事にも積極的に取り組むことだと思います。それでは、皆さん、元気よくいきましょう。

在来生所感



共同獣医学課程 3年
谷田部 匠

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

ここ帯広畜産大学で新しい生活を始める皆さんに、少しばかりですが自分の考える「畜大生である」ことの魅力を伝えられたらと思い筆を執らせていただきました。

この大学は畜産、そして獣医学を学ぶ上でとても素晴らしい環境にあります。北海道の中でも農畜産業に精通している地域で、実際に牛や馬と関わることが出来るサークル、豚の世話をして食肉に加工する授業や、牛の分娩を観察する授業など、頭だけではなく体に経験として蓄積される学びをこの大学では1年生のうちから得ることができます。また、2年生になると生理学や解剖学、薬理学などの専門分野

の授業が始まり、より深く知識の面からも生物と関わる機会が増えていきます。

自分が2年間この大学に通って感じていることは、自分から求めていけば様々な経験を得ることが出来る環境があるということです。自分は学生会という、いわば高校までの生徒会のような組織に所属しており、そこで獣医学課程の欧州国際認証に向けたカリキュラムの改善に関わったり、学科内の会議に出席したりと大きな経験をしています。また、アルバイトでも、農家さんの手伝いでイモの収穫や小豆畑に生えたイモの除去をしたり、搾乳や市場での牛引きなどの実際の現場でのアルバイトをしたりと、学業以外にも多くの経験を得る機会がたくさんあります。これら農家バイトと呼ばれるバイトは畜大生に優先的に募集がかかることが多く、この大学にいるからこそ経験できることの一つだと思います。

6年間という長い期間ではありますが、今後皆さんのが畜大で多くの経験をし、そして楽しい学生生活が送れることを祈っています。



畜産科学課程 3年
玉川 雄太

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。

高校生までは、学校で決められた授業を受け、先生などから勧められたことを行い、自分では完全に決めて行動できなかったと思います。しかし、大学では自らの意思でさまざまなことが経験でき、学ぶことのできる場所です。様々なことにチャレンジし、悔いのない大学生活を送ってほしいと思います。

大学生活を送る中で、一番大切なものは友達や先輩、先生などとの出会いが大切だと思います。一緒に勉強してくれる仲間、一緒に遊んでくれる仲間、多くの情報を教えてくれる仲間など一人で生活するより仲間を作っていくことは大学生活を送る中で有

利になるものだと思います。だから、サークルや部活などに入つておくことはおすすめです。そこでは、大学でしかできないことなどさまざまな経験ができるでしょう。また、もともと興味のなかったことにも熱中できるようになるかもしれません。一つのことに縛られず、広い視点をもつて生活することが大切だと思います。

やはり気になるのは学校の講義や実習でしょう。一年生では農畜産科学概論というものがあり、農業についてさまざまな視点から学ぶことができます。一年生の実習では、牛や豚に触れたり、アイスクリームやソーセージを作ったり、トラックを操縦したりするなど、どれも農業を学ぶ上でとても濃い時間を過ごすことができます。こうした実習や講義から農場から食卓までの過程を学ぶ中で、食の大切を実感することができます。

いよいよ新たな学校生活が始まります。時には苦しい時もあるでしょう。そんな時こそ自分の長所を見失わず、仲間と乗り越えてください。有意義な学校生活になることを願っています。

在来生所感



畜産科学課程 2年
野村 陽向

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。待ち望んでいた大学生活がいよいよ始まり、期待に胸を躍らせていることでしょう。都府県から帯広にきてまだ生活に慣れていない方も多いでしょう。しかし、これからの大學生はたくさんの驚きとわくわくが待っています。

帯広畜産大学ではほかの大学では得られないたくさんの経験ができます。実習では、ジャガイモなどの野菜を育てて収穫したり、クラスごとに豚を一頭ずつ飼育したりします。豚の飼育は、給餌や除糞を行なながら豚の健康状態を確認します。豚と触れ合っているうちに些細な体調や行動の変化を見ること

ができるため、豚が少し怖いと思っていた人も楽しそうに作業をしています。最後には、屠畜実習で愛情をこめて育てた豚を屠畜します。私達が普段何気なく食べている豚肉がどのように育ち、どのように私たちのもとに届くのかを実習を通して知ることができます。ほかにも、食品加工の実習や乗馬実習、搾乳実習があります。このような「食」の知識や感謝は日常生活においてとても大切です。是非、そんなことを考えながら実習を楽しんでください。

サークルではたくさんの面白い先輩たちや友達とともにときに厳しく、ときに楽しく活動ができます。この大学ならではの農業関係のサークルや北海道ならではのスポーツなど面白いサークルはたくさんあります。また、農家バイトで搾乳や芋の収穫のお手伝いなど行います。農家バイトの経験や地域の農家とのかかわりは後々役に立つことがあるのでおすすめです。

この大学だからこそできる経験を積んで、有意義な大学生活をお過ごしください。



別科 2年
黒木 彩香

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に不安を抱く反面、大きな期待に胸を膨らませていることかと思います。キツネやエゾリスなどの野生動物に目を輝かせ、道路に連なる矢羽根や季節ごとに表情を変える農地に感動を覚え、気づけば星空を眺めながら1日のスタートを切っていた朝の搾乳バイト、畜大ならではの講義に心が躍り、サボりがちな体操部で仲間と共に楽しく汗を流す…。農業との関わりがなく京都でシティーガールな生活を送っていた私には何もかもが新鮮で、自慢気に遠く離れた友達や家族に報告する日々もあつという間に1年が経とうとしています。

ぜひ皆さんには、ここでしかできないこと、ここだからできること、したい!と思うことをがむしゃらにやっていって欲しいです。そのためには、たくさん失敗もあるだろうし、うまくいかないことが多いかもしれません。ですが、そこでしっかりと自分の気持ちと周りと向き合っていくことで、これからもっともっと大きく成長していくきっかけや出会いがあると思います。ですので、今しかできない挑戦をしていってください。

私は別科学生ですので、別科での生活をより豊かにするアドバイスをさせていただきたいと思います。少々お付き合いください。別科は少人数での講義ですので、自然と先生との距離も近くなります。質問しやすい環境を活かし積極的に発言していくとより濃い講義となることだと思います。また、牧場見学や夏季農家実習といった機会は酪農の現状を知る上で大変貴重な経験となることだと思います。志をもって取り組んでいってほしいと思います。

では、有意義な大学生活を送れるように祈っています。

学長告示が 動画配信にて公開



国立大学法人帯広畜産大学では、2020年2月頃より国内で発症が確認された新型コロナウイルス感染症の発生状況に鑑み、令和2年3月の学位記並びに修了証書授与式を中止することとしました。

なお、式典は中止となりましたが、学長告示については実施することとし、その様子は3月19日（木）より大学ホームページにて動画配信しました。

また、例年式典では学長より各ユニットにおける学業成績優秀者の表彰も行われていましたが、今年は大学から手交により学業成績優秀者へ賞状の授与及び記念品の贈呈を行いました。

本年度は、学部253名、別科（草地畜産専修）16名、大学院各専攻合わせて51名の合計320名が、畜大での思い出を胸に社会へ巣立っていきました。



☆飲酒について☆

本学では未成年者の飲酒は、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要等を含めて、いかなる場合であっても禁止し、また、退学や停学の処分を行う場合もあります。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた、断れず仕方なく飲んでしまった等の事実があった場合は、学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のこと留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない

☆SNS利用にあたって☆

SNS (Facebook, Twitter, LINE 等) を頻繁に利用している方も多いかと思いますが、SNS 利用に関するトラブルが近年増加しています。

自身で情報を発信する際は、

- 他人のプライバシーを侵害していないか
(他人の写真や情報を載せる等)
 - 自身のプライバシー設定は適切か
(自分の意図しない範囲まで情報が広まる等)
 - 迷惑行為をしていないか
(誹謗中傷や不適切な発言や写真、動画の投稿等)
 - 秘密にすべき内容を載せていないか
(アルバイト先等の内部情報等)
- など、トラブルを引き起こすまたはトラブルに巻き込まれる可能性はないかを一度考えてから投稿するなど注意が必要です。

SNS は、自身の身近な人だけでなく、日本中、世界中の人に情報を発信していることを忘れずに良識をもって利用してください。

☆悪徳商法にご注意！☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った（思われる）場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

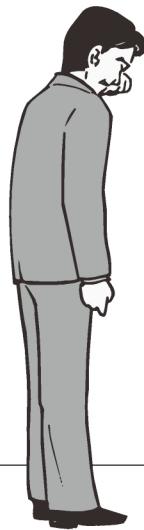
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求（パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する）
- 無料商法（無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる）
- サクラサイト商法（サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになります。
メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する）
- デート商法（間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます）
- マルチ商法（加盟者が新規加盟者を説き、その加盟者が別の加入者を説くという連鎖により組織を拡大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。
加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い）
- キャッチセールス（繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる）
- アポイントメントセールス（抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る）

交通事故防止

／加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑、罰金）
3. 行政処分 例（免許取消、免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲戒処分 例（退学、無期停学、停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



／被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い、経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が、毎日夢に出てくる
6. 怒り



／大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については、交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として、一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には、徒歩、自転車、或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では、学生と思われる無断駐車が多数見受けられ、歩行者の通行を阻害する等、荷物の搬入、緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は本学が開催する「交通安全セミナ

ー」を受講のうえ「駐車場使用許可申請書」を提出し「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また、マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても、本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として、良識ある行動を取るよう、切望します。